

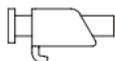
## ST-3200 シリーズ 取扱説明書

### お願い

ご使用の前に必ず、別紙の「安全に関する使用上の注意」をお読みください。

### 梱包内容

- (1) ST 本体 1 台
- (2) 取扱説明書 日英各 1 冊（本書）
- (3) 安全に関する使用上の注意 1 冊
- (4) 防滴パッキン 1 個（本体に装着）
- (5) 取り付け金具（4 個 1 組）



- (6) 電源コネクタ 1 個  
（本体に装着）



- (7) USB ケーブル抜け防止クランプ  
1 セット  
（ホルダー 1 個、カバー 1 個）



品質や梱包などには出荷時に際し、万全を期しておりますが、万一破損や部品不足、その他お気付きの点がありましたら、直ちに販売店までご連絡くださいますようお願いいたします。

### マニュアルについて

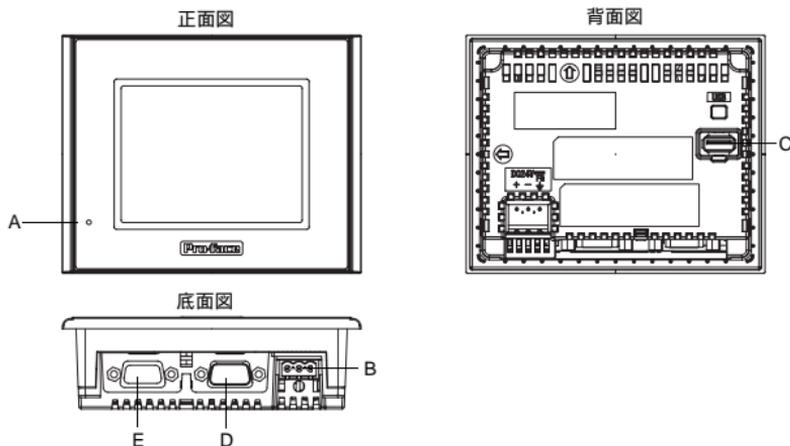
ST3000 シリーズに関する詳細な情報は以下の PDF マニュアルを参照してください。

- ST3000 シリーズハードウェアマニュアル
- 保守 / トラブル解決ガイド

GP-Pro EX のヘルプメニューから選択、または（株）デジタルホームページからダウンロードしてご覧ください。

ホームページアドレス  
<http://www.proface.co.jp/otasuke/>

# 各部名称



名称		説明	
A	ステータス LED	LED	ST の状態
		緑色点灯	通常運転時 (通電時) またはオフライン時
		橙色点滅	ソフトウェア起動中
		赤色点灯	電源投入時
		消灯	無通電時
B	電源コネクタ	—	
C	USB ホスト インターフェイス (USB)	USB1.1 対応。TYPE-A コネクタ × 1 ポート。 電源電圧 DC5V ± 5%、出力電流 500mA (最大)。 最大通信距離は 5m。	
D	シリアルインターフェイス (COM1)	D-SUB9 ピンプラグタイプ。 RS232C に対応。	
E	シリアルインターフェイス (COM2)	AST3201-A1-D24 は D-SUB9 ピンプラグタイプ。 RS422/RS485 に対応。 <sup>1</sup> AST3211-A1-D24 は D-SUB9 ピンソケットタイプ。 RS485(MPI 専用) に対応。	

<sup>1</sup> RS485 には Rev.C 以上で対応しています。

参照 → 「リビジョンについて」(11 ページ)

## 一般仕様

### 電氣的仕様

電源	定格電圧	DC24V
	電圧許容範囲	DC19.2 ~ 28.8V
	許容瞬時停電時間	2ms 以内
	消費電力	13W 以下
	突入電流	60A 以下 <sup>1</sup>
絶縁耐力	AC1000V 20mA 1 分間 (充電部端子と FG 端子間)	
絶縁抵抗	DC500V 10MΩ 以上 (充電部端子と FG 端子間)	

<sup>1</sup> 半値幅 (30A を超える時間) は約 40μs です。

### 環境仕様

物理的 環境	使用周囲温度	0 ~ +50°C <sup>1</sup>
	保存周囲温度	-20 ~ +60°C
	使用周囲湿度	10 ~ 90%RH (結露のないこと、湿球温度 39°C 以下)
	保存周囲湿度	10 ~ 90%RH (結露のないこと、湿球温度 39°C 以下)
	じんあい	0.1mg/m <sup>3</sup> 以下 (導電性塵埃のないこと)
	汚染度	汚染度 2

<sup>1</sup> 使用周囲温度 40°C 以上の環境下で長時間使用するとコントラストが低下するなど表示品位が低下することがあります。

## 外部インターフェイス

### 重要

- ST (AST3211-A1-D24 の COM2 を除く) のシリアルインターフェイスにはアイソレーション機能はありません。特に接続相手がアイソレーションされていない場合は、必ず 5 番ピン (SG) を接続してください。RS232C/RS422/RS485 の回路が故障する恐れがあります。
- AST3201-A1-D24 の COM1 と COM2 には、同一形状のコネクタを使用しています。間違いやすいため十分ご確認のうえ接続してください。間違っても接続しますと通信できません。

### MEMO

- アイソレーションが必要な場合は、COM1 にて RS232C アイソレーションユニット (CA3-ISO232-01) を使用することによりアイソレーションが可能となります。

### COM1

ケーブル側推奨コネクタ	XM2D-0901 <オムロン (株) 製>
推奨ジャックスクリュー	XM2Z-0073 <オムロン (株) 製>
推奨カバー	XM2S-0913 <オムロン (株) 製>
嵌合固定金具	#4-40 (インチネジ)

ピン番号	RS232C	
	信号名	内容
1	CD	キャリア検出
2	RD(RXD)	受信データ
3	SD(TXD)	送信データ
4	ER(DTR)	データ端末レディ
5	SG	信号グランド
6	DR(DSR)	データセットレディ
7	RS(RTS)	送信要求
8	CS(CTS)	送信可
9	CI(RI)/VCC	被呼表示 +5V±5% 出力 0.25A <sup>1</sup>
Shell	FG	フレームグランド (SG 共通)

<sup>1</sup> 9 番ピンの RI/VCC はソフトウェアで切り替え。VCC 出力は過電流保護されていません。誤動作、故障の原因になりますので、電流定格を守ってご使用ください。

## COM2

ケーブル側推奨コネクタ	XM2D-0901 <オムロン(株)製> (AST3201-A1-D24のみ) XM2A-0901 <オムロン(株)製> (AST3211-A1-D24のみ)
推奨ジャックスクリュー	XM2Z-0073 <オムロン(株)製>
推奨カパー	XM2S-0913 <オムロン(株)製>
嵌合固定金具	#4-40 (インチネジ)

ピン 番号	RS422/RS485 <sup>1</sup> (AST3201-A1-D24 専用)		RS485 (MPI 専用) (AST3211-A1-D24 専用)	
	信号名	内容	信号名	内容
1	RDA	受信データ A(+)	NC	—
2	RDB	受信データ B(-)	NC	—
3	SDA	送信データ A(+)	LINE(+)	ライン (+)
4	ERA	データ端末レディ A(+)	RS(RTS)	送信要求
5	SG	信号グラウンド	SG	信号グラウンド <sup>2</sup>
6	CSB	送信可 B(-)	5V	5V 外部供給出力 <sup>3 4</sup>
7	SDB	送信データ B(-)	NC	—
8	CSA	送信可 A(+)	LINE(-)	ライン (-)
9	ERB	データ端末レディ B(-)	NC	—
Shell	FG	フレームグラウンド (SG 共通)	FG	フレームグラウンド <sup>2</sup>

1 RS485 には Rev.C 以上で対応しています。

[参照](#) → 「リビジョンについて」(11 ページ)

2 AST3211-A1-D24 の COM2 では SG と FG が絶縁されています。

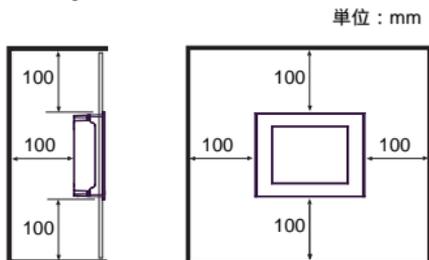
3 6 番ピンの 5V 出力は過電流保護されていません。誤動作、故障の原因になりますので、電流定格を守ってご使用ください。

4 Siemens 製 PROFIBUS コネクタ用電源のため、外部機器へ電源を供給することはできません。

# 取り付け

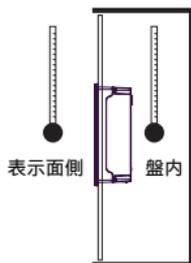
## 1. 取り付け条件

- 保守性、操作性および風通しをよくするため、STと構造物や部品との間は100mm以上のスペースを取ってください。



- 故障の原因になりますので、使用周囲温度 0 ~ 50°C、使用周囲湿度 10 ~ 90%RH (湿球温度 39°C 以下) の環境で使用してください。

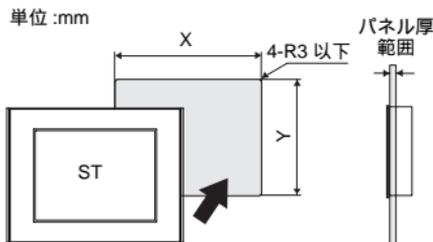
STをケースや構造物に組み込んで使用する場合は盤内、表示面側両方の温度を使用周囲温度としてください。



- 他の機器の発熱でSTが過熱しないようにしてください。

## 2. 本体の取り付け

- パネルカット寸法に従って、パネル面に取り付け穴を開けます。



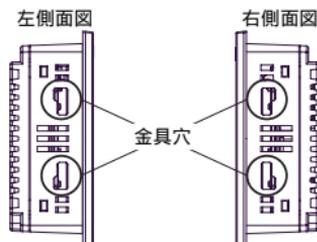
X	Y	パネル厚範囲
118.5 <sup>+1</sup> <sub>-0</sub>	92.5 <sup>+1</sup> <sub>-0</sub>	1.6 ~ 5.0

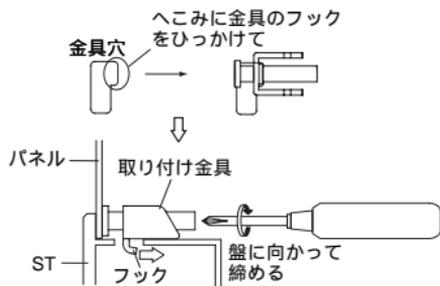
- STに防滴パッキンが装着されていることを確認し、パネル面の正面からSTを挿入します。

### 重要

- 防滴効果を必要としないような環境においても防滴パッキン(本体装着)は、必ず使用してください。防滴パッキンの取り付け方法については、ST3000シリーズハードウェアマニュアルを参照してください。

- STの金具穴に取付金具のフックを挿入し、取付金具のネジの後ろをドライバで止めます。金具穴に取付金具を挿入する時は、金具穴のへこみ部分に取付金具のフックを確実に挿入してください。金具穴は4箇所あります。





### 重要

- 取り付け金具は、上図のように金具穴のへこみ部分に取り付けてください。正しい位置に取り付けられていないと脱落の恐れがあります。
- ネジは強くしめすぎると、STを破損する恐れがあります。
- 防滴効果を得るための適正締め付けトルクは0.5N・mです。

## 電源配線

### 警告

- 感電の恐れがありますので必ず電源が供給されていない状態で接続してください。
- 定格電圧以外を入力しないでください。定格電圧以外を供給すると電源および本体が破損します。
- FG端子は必ずアースに落としてください。故障したときに感電する恐れがあります。

### 1. DCタイプの電源ケーブルの配線

#### 電源ケーブル仕様

銅芯線を使用してください。

電源ケーブルの太さ	0.75 ~ 2.5mm <sup>2</sup> (18 - 12 AWG)
芯線の状態	単線またはより線 <sup>1</sup>
芯線の長さ	

1 より線を使用する場合、芯線のよじりが適切でないと、芯線のヒゲ線同士またはヒゲ線と隣の電極とが短絡する恐れがありますのでご注意ください。

#### 電源コネクタ（プラグ）仕様

	+	24V
	-	0V
	FG	STの筐体に接続されている接地用端子

### MEMO

- 電源コネクタ（プラグ）は、（株）デジタル製 CA5-DCCNM-01 または、フ

エニックス・コンタクト(株)製  
MSTB2,5/3-ST-5,08 です。

電源配線には次をご使用ください。  
フエニックス・コンタクト(株)製です。

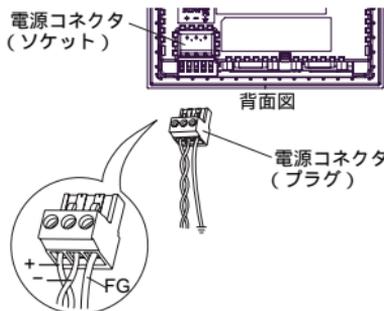
推奨ドライバ	SZF 1-0.6x3.5 (1204517)
推奨棒端子	AI 0.75-8GY (3200519) AI 1-8RD (3200030) AI 1.5-8BK (3200043) AI 2.5-8BU (3200522)
推奨棒端子用 圧着工具	CRIMPFOX ZA 3 (1201882)

### 電源ケーブル接続方法

- (1) 通電されていないことを確認します。
- (2) 電源ケーブルの被覆を剥いて、芯線をよじり、棒端子に挿入して圧着。接合部へ取り付けます。

#### 重要

- 端子ネジを締め付ける時はマイナスドライバ (SIZE0.6x3.5) をご使用ください。適正な締め付けトルクは 0.5 ~ 0.6N・m です。
  - ケーブルの接合部分ははんだ付けしないでください。
- (3) 電源コネクタ (プラグ) を ST に取り付けます。



## 2. 電源供給時の注意事項

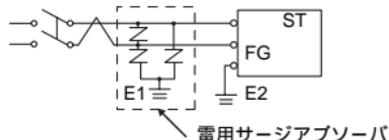
- STの電源と入出力機器、および動力機器とは、系列を分離して配線してください。
- 電源ケーブルは必ず電源コネクタ (プラグ) に近いところから、耐ノイズ性向上のためツイスト (より線) で布線してください。
- 主回路 (高電圧、大電流) 線、入出力信号線、電源ケーブルは、それぞれ束線、接近をしないでください。
- ノイズ対策のため、電源ケーブルはできるだけ短くしてください。
- 電圧変動が規定値以上の場合には定電圧トランスを接続してください。
- 線間や大地間は、ノイズの少ない電源を使用してください。ノイズが多い場合は絶縁トランス (ノイズカットトランス) を接続してください。
- 取り付け導体の温度定格は 75°C のみです。

#### 重要

- 定電圧トランス、絶縁トランスの容量は定格値以上のものを使用してください。
- DC24V 入力機は必ず Class 2 電源でご使用ください。
- 雷のサージ対策に、雷用サージアブソーバを接続してください。

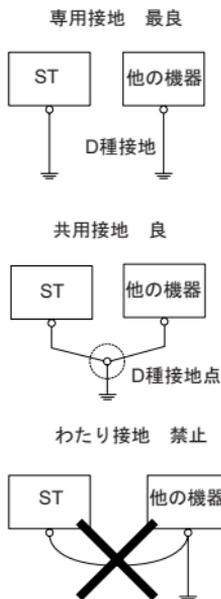
#### 重要

- 雷サージアブソーバの接続 (E1) と本体の接地 (E2) とは分離してください。電源電圧最大上昇時でもサージアブソーバの最大許容回路電圧を超えないような雷用サージアブソーバを選定してください。



### 3. 接地時の注意事項

- 電源ケーブルのFGは、専用接地としてください。「接地工事はD種接地、接地抵抗 100Ω以下」
- ST(AST3211-A1-D24のCOM2を除く)は内部でSG(信号グラウンド)とFG(フレームグラウンド)が接続されています。接続装置とSGを接続する場合は、短絡ループが形成されないようにシステムを設計してください。
- 2mm<sup>2</sup>以上の接地用電線を使用してください。接地点は本体の近くで接地線の距離を短くしてください。接地線が長くなる場合は太い絶縁線を通して敷設してください。



### 4. 入出力信号接地時の注意事項

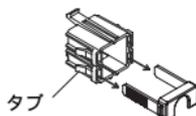
- 入力信号線、および出力信号線は、動力回路のケーブルとは別の配線系統に布線をしてください。

- 動力回路ケーブルを別の配線系統にできないときには、シールドケーブルを使用して、シールド端を接地してください。

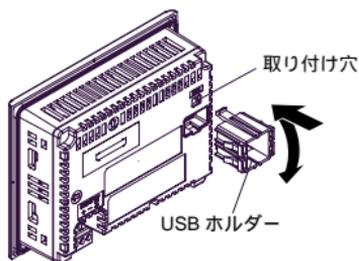
### USB ケーブルの抜け防止に

#### USB ホルダーの取り付け

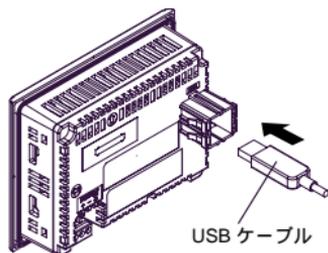
- USB ホルダー側面部のタブを持ち上げて、USB カバーをあらかじめ取り外しておきます。



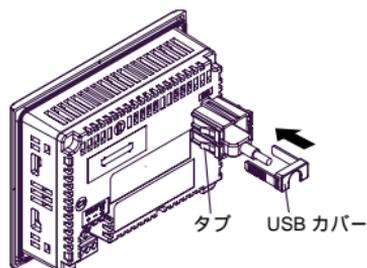
- USB ホルダーを本体の USB ホストインターフェイス部分に取り付けます。USB ホルダー上部のツメを本体の取り付け穴に引っ掛けてから下部のツメを挿入し、本体に固定します。



- USB ケーブルを USB ホストインターフェイスに差し込みます。



- (4) USB カバーを取り付けて USB ケーブルを固定します。USB カバーを USB ホルダーのタブに挿入します。



## UL/c-UL 認定について

ST-3200 シリーズは UL/c-UL 製品認定品です。

(UL File No. E220851 )

型式	UL/c-UL 登録型式
AST3201-A1-D24	3580205-01
AST3211-A1-D24	3580205-02

以下の規格に適合しています。

UL508

工業用制御装置

CSA-C22.2, No.142-M1987 (c-UL 認定)

制御処理装置

< 注意事項 >

ST を組み込んだ機器を UL 申請する際は、以下の事項にご注意ください。

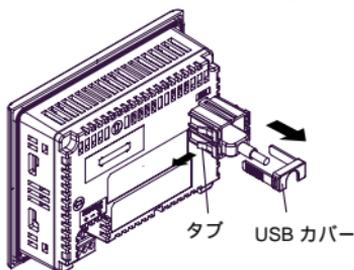
- ST の背面部はエンクロージャとして認定されていません。ST は機器に組み込み、機器全体として規格に適合するエンクロージャを構成してください。
- ST は室内専用機として使用してください。
- ST は前面取り付けで使用してください。
- 自然空冷の場合、ST は垂直なパネルに取り付けてください。また、背面部周囲の空間は全方向に 100mm 以上開けることを推奨します。温度は ST の組み込まれた最終製品で確認しなければなりません。
- タイプ 4X (室内専用) および / または タイプ 13 エンクロージャの平面上に取り付けてください。

### 重要

- USB ケーブルが固定されるよう USB カバーの上下の向きに注意してください。

USB ホルダーの取り外し

- (1) USB ホルダーのタブを持ち上げて USB カバーを取り外します。



- (2) USB ケーブルを取り外した後、USB ホルダーを上下につぶしながらツメを外します。

## CE マーキングについて

- AST3201-A1-D24 および AST3211-A1-D24 は、EMC 指令に適合した CE マーキング製品です。  
EN55011 Class A, EN61131-2 に適合しています。

## リビジョンについて

STのリビジョンはSTに貼付された銘板ラベルで確認できます。以下の例では、本来「A」がある位置に「\*」があるため「Rev. A」のSTとなります。



## お問い合わせ

本製品でお困りのこと、ご質問など、いつでも解決のお手伝いをさせていただきます。弊社サポートサイト「おたすけ Pro!」へアクセスしてください。  
<http://www.proface.co.jp/otasuke/>

## お断り

本製品を使用したことによるお客様の損害その他不利益、または第三者からのいかなる請求につきましても、当社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

株式会社 デジタル

〒559-0031

大阪市住之江区南港東 8-2-52

TEL : (06) 6613-1101 (代)

FAX : (06) 6613-5888

URL : <http://www.proface.co.jp/>

本書の記載事項はお断りなく変更することがありますので、ご了承ください。

© Copyright 2006 Digital Electronics Corporation. All rights reserved.  
085887L .AST3200-MT01J-BTH  
2007.7. SS/F